

令和5年度 研究推進計画

大竹市立小方中小学校

1 学校研究主題

道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方
～道徳的価値観を形成する発問づくりを通して～

2 主題設定の理由

小方小・中学校では、「特別の教科道徳の指導方針」を、「全ての教育活動を通して行う道徳教育と密接な関連を図りながら、考え、議論する道徳科の学習を通して、物事を多面的・多角的にとらえ、自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てること」としている。道徳教育推進教師は、年間を通して道徳通信を発行し、道徳教育及び道徳科の基本的な考え方や授業改善のために必要なことなどを小方小・中学校教職員に伝えている。さらに、広島県教育委員会や大竹市教育委員会主催研修で学んだことを還元し、全教職員で小方小・中学校の道徳教育の重点目標である「思いやりの心を育み、望ましい人間関係を築く」ことができるように取り組んでいる。

しかし、児童、生徒の道徳的行為をしようとする内面の力がどのように育っているか、調査、分析をしておらず、取組に対する検証がなされていない。

また、小方小・中学校は施設一体型の小中一貫教育校であるにも関わらず、小学校の道徳通信を中心とした資料の提供による連携にとどまっており、9年間を見通した指導内容や指導方法の連携にまでは至っていない。

そこで、今年度は、小・中学校で連携し、児童生徒の発達の段階に応じて道徳的価値観を形成するため、道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考えさせる発問づくりを充実させることによって、児童生徒の道徳的行為をしようとする内面の力を育てる。また、実践研究を行い、大竹市及び広島県の小・中学校へ成果の普及を図る。

3 研究仮説

道徳科の授業において、道徳的価値観を形成する発問をすれば、児童生徒に道徳的行為をしようとする内面の力を育てることができるであろう。

*道徳教育推進リーダーは、TTで小学校・中学校の授業を行い、「道徳的価値観を形成する発問づくりが適切に行われているか」「道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業になっているか」を評価、分析し、フィードバックしながら組織的な取組としていく。

4 研究内容及び取組

(1) 道徳的価値観を形成する発問づくり

①授業前の協議

- ・授業までに道徳教育推進リーダーと学級担任は、「道徳的価値の理解、教材分析、主題解釈、教材解釈、中心発問、基本発問、補助発問」等について、協議を行う。

②T Tの授業形態

- ・実際の授業において、学級担任がT1として中心となって授業を進め、T2の道徳教育推進リーダーと分担・協力して、個々の児童生徒の学習状況の把握及び対応を行う。
- ・児童生徒に道徳的価値観を形成するため、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えさせる中心発問や基本発問、補助発問を行う。

(2) 教師の9年間での発達段階に応じた道徳的価値への理解

①小中共通の重点内容項目の設定

重点内容項目

- 主として人とのかかわりに関すること
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること

②9年間を見通した児童生徒の意識・行動の変容を図るためのカリキュラム・マネジメントの充実

(3) 道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方に係わる仮説・検証

①授業後の分析・評価

- ・授業後には、「中心発問や基本発問、補助発問は適切であったか」、「道徳的行為をしようとする内面の力を育てる授業であったか」等を学級担任と道徳教育推進リーダーとで分析、評価を行う。

②実態調査

- ・保護者、児童生徒、教師へのアンケートにより実態調査をする。(7月, 12月, 2月)

(4) 授業公開や研究発表の実施

- ・小中学校合同研修(研究授業・協議)を年3回行う。

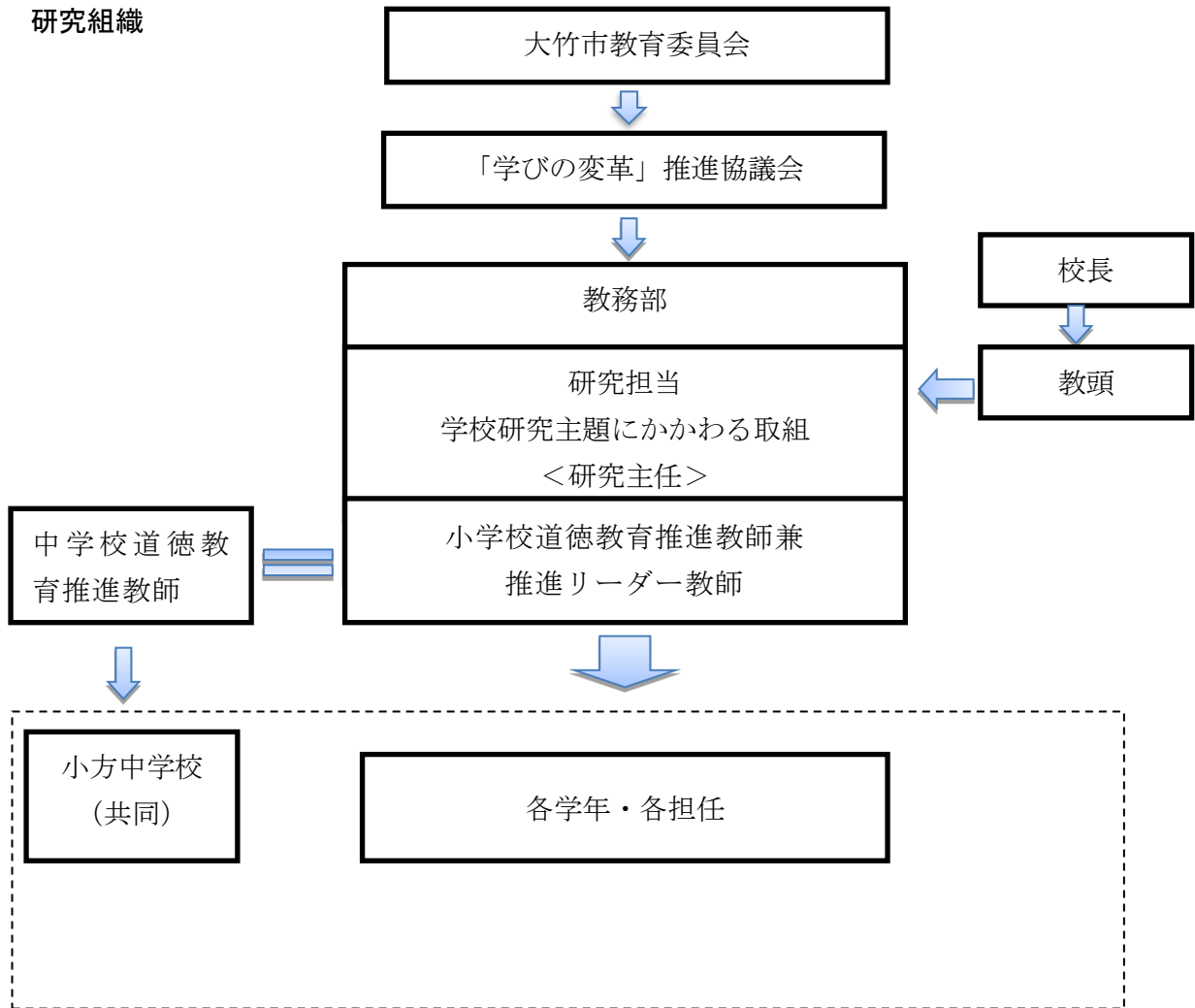
5 めざす子どもの姿

○道徳科の授業で、自分と教材を結び付けて考え、道徳的行為をしようとする内面の力が育っている子。

6 検証計画

指標	達成目標	検証時期	検証方法
教師アンケート	評価の向上	2月	評価の推移(7・12・2月)
保護者・児童生徒アンケート	評価の向上	2月	評価の推移(7・12・2月)

7 研究組織



8 研修計画

令和5年5月8日現在

実施月		研修内容	指導・助言者	形態	その他の研究授業・学力テスト等
4月	5水	・今年度の研究主題・方向性について		小中合同	4/18 全国学力テスト(6年) 道徳実態調査①
5月	9火	【校内研修】 ・研究の概要と研究推進計画の説明	県教育委員会	小中合同	
6月	29木	【研究授業①】5校時 4年 3組 菊野勇樹 教諭 道徳科「 」 授業者 小学校	県教育委員会	小中合同	
7月	未定	【校内研修】 ・1学期のまとめ・振り返り		小中合同	道徳実態調査②
8月	18金	【校内研修】 ・理論研修	島恒生教授	小中合同	
	未定	【校内研修】 ・2学期の道徳授業指導案検討(参観日・研究授業)		小中別	
	31木	【校内研修】 ・全国学力調査分析			
9月					道徳参観日 9/15
10月	11水	【研究授業② 兼大竹市道徳推進者協議会】5校時 6年 1組 向井咲子 教諭 道徳科「 」 授業者 小学校	県教育委員会 大竹市道徳推進者協議会	小中合同	
11月					標準学力調査「書く」 練習問題実施
12月	6水	【研究授業③】5校時 2年 1組 志茂孝昭 教諭 道徳科「 」 授業者 中学校	島恒生教授	小中合同	標準学力調査実施 12/13 道徳実態調査③
1月	19金	【研究授業④】5校時 2年 1組 大島裕子 教諭 道徳科「 」 授業者 小学校	島恒生教授	小中合同	
2月	8木	【校内研修】16:00~16:45 ・標準学力調査結果の分析		小	
	22木	【校内研修】16:00~16:45 ・今年度の成果と課題について		小中合同	<5年>前年度全国学力テスト実施 道徳実態調査④

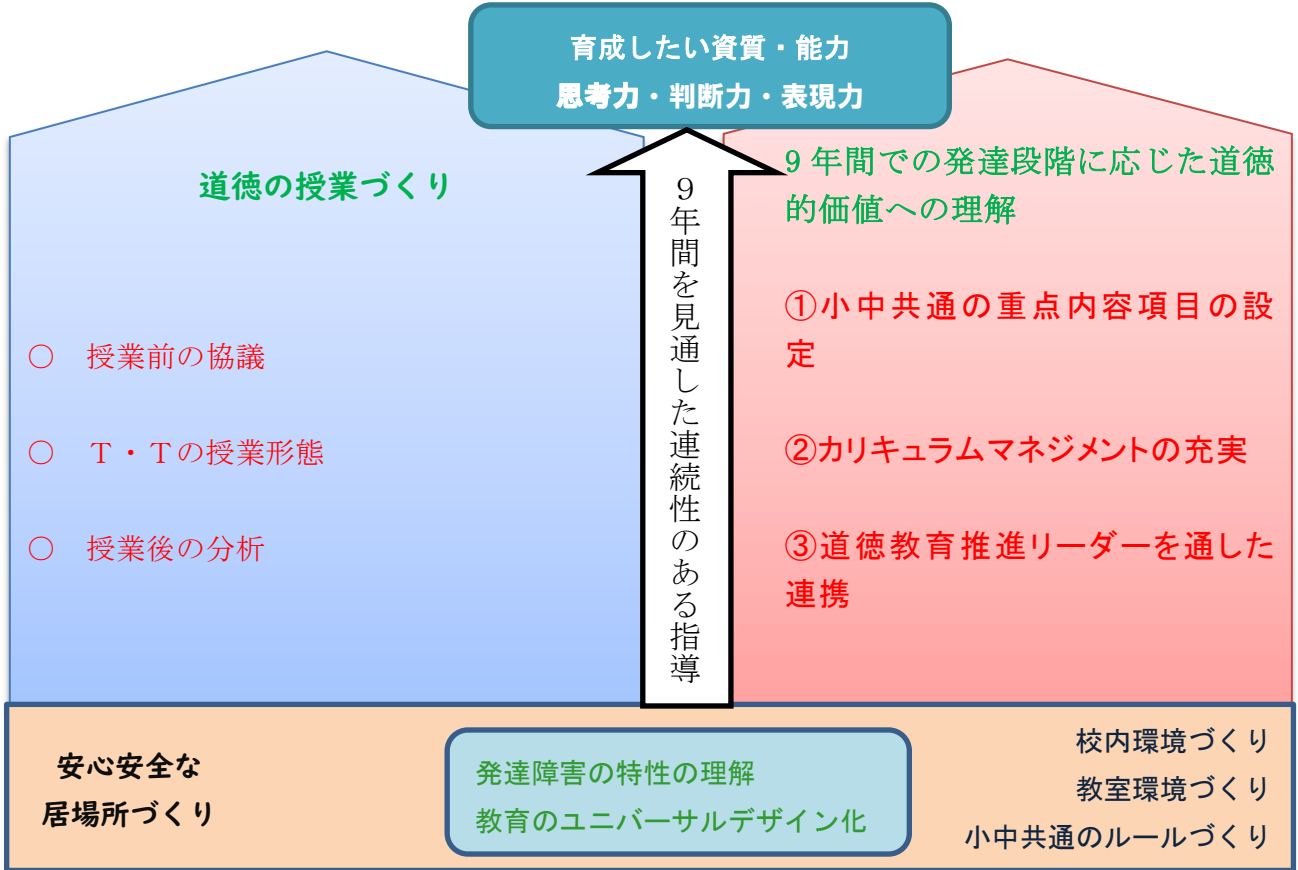
9 研究構想図

<u>学校教育目標</u>	かしこく なかよく たくましく ～ 元気に 仲良く 学習する児童生徒の育成 ～
<u>研究主題</u>	道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方 ～道徳的価値観を形成する発問づくりを通して～

目指す児童生徒像

じっくり考え，はっきり説明できる児童生徒

我慢強さ，粘り強さ，協調性を身に付けた児童生徒



児童・生徒の実態

- ・ 必要な情報を取り出し，再構築するのが苦手な児童生徒が多い。
- ・ 自分の考えを伝えることが苦手な児童生徒が多い。